

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

子どもの好奇心が、はじける瞬間をつくりたい

ROE
10%以上

店舗数
2倍以上

② 中長期の経営戦略

1. パーパス軸の商品再構築

子どもの好奇心に基づくラインアップへ再構築。2019年より進めた事業構造改革が完了し、採算性・将来性の観点から見直し完了

3. 三本柱による黒字化推進

2026年～2028年（2027年1月期～2029年1月期）において「ピタゴラス」「Baby curiosity」「やりたい放題」の三本柱で黒字化を確実にする中期計画

2. 新シリーズ展開

第一弾「1curiosity」は中長期的なブランド価値向上の中核。第二弾「Baby curiosity」は14商品投入し、購入者への価値伝達と販売拡大を見込む

4. 成長フェーズへの移行

2029年以降はブランド完成度を高める成長フェーズへ進み、好奇心を中心概念とした独自カテゴリー確立を目指す

③ 対処すべき課題

① 新シリーズの理解浸透

- ・ 1curiosityは従来にない視点からの挑戦的取組で理解に時間を要する
- ・ Baby curiosityによる顧客基盤拡大が1curiosityの理解促進へつながる循環形成が必要

② 収益創出への移行

- ・ 構造改革完了後、確実な黒字化が急務
- ・ 三本柱による安定的な収益基盤の構築

③ 独自カテゴリー確立

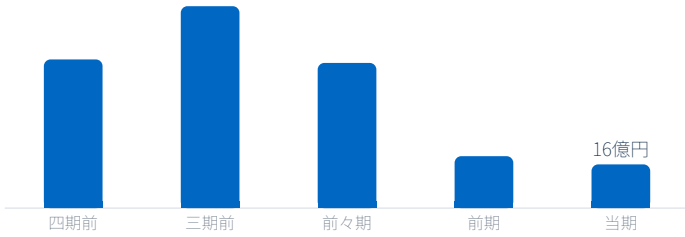
- ・ 好奇心を中心概念とした差別化されたカテゴリー開発と確立

面接で使えるポイント

- ・ パーパス「子どもの好奇心がはじける瞬間をつくる」という軸で、事業構造改革から収益創出フェーズへ転換する中核企業
- ・ 1curiosity、Baby curiosity、ピタゴラスの三本柱で2027年1月期～2029年1月期の黒字化と独自…
- ・ ROE10%以上という中長期指標ヘシフトし、企業価値向上と持続的成長を重視する経営方針への転換を推進

証券コード 7865

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
63点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 42.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
600万円

その他製品内 47位/105社

平均年齢
42.0歳

その他製品内 63位/105社

平均勤続
14.0年

その他製品内 56位/105社

女性管理職
86.7%

その他製品内 1位/83社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

